

## 確率的思考

サイコロの目は六つで、細工をしなければ、振ればどれも一様の確率で出ます。コインを投げれば表と裏は同じ確率の二分の一で出ます。同じように何も細工をしなければ、幸運と不運は同程度に起こります。では幸運を呼び込むにはどうしますか。

答えは細工をすれば良いのです。つまり幸運の確率を高めるために、様々な工夫をするのです。もちろん逆のことをすれば不運の確率が高まります。

すべての事象は確率ゼロから百パーセントの間でおこりますので、起こった事は、あり得ない、ということはありません。起こるべくして起こるのです。従いまして、起こって欲しい事の確率を高め、そうでない事の確率を低める必要があります。

基本は、何か事を成すために、今何が必要か、そしてそれで十分なのかという思考を繰り返していくことです。数学では必要十分条件を満たしているか、という思考の連続です。人生は複雑な要因が絡み合っ、思うように事は運びませんが、確率的思考では、うまくいっていない時も、確率的に納得して、次の工夫で確率を高めようとします。

めげない人はそんな思考をしています。

